

益城町文化会館自主事業

ザ・シンフォニエッタ演奏会

The Sinfonietta

*♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪*

The Sinfonietta

第6回 定期演奏会

1993年5月23日(日)

◆開場 18:30 ◆開演 19:00

ベートーヴェン

交響曲第7番 長調 作品92

Beethoven : Symphonie Nr. 7 A-Dur Op. 92

*♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪*

1992. 9. 13(日) ◆開場13:00 ◆開演14:00

益城町文化会館

益城町文化会館自主事業

ザ・シンフォニエッタ演奏会

* ♪***♪***♪** プログラム **♪***♪***♪*

§ 歌劇《フィガロの結婚》序曲
Overture zur Oper "Le Nozze Figaro" モーツァルト

§ 序曲《フィンガルの洞窟》
Die Hebriden メンデルスゾーン

§ 交響曲 第5番 ハ短調 Op. 67 《運命》より
第1楽章
Symphonie Nr. 5 c-Moll ベートーヴェン

§ 交響曲 第3番 イ短調 Op. 56 《スコットランド》
Symphonie Nr. 3 a-Moll "Scottish" メンデルスゾーン

指揮：石川 真也
お話：原武 博之
演奏：ザ・シンフォニエッタ

* ♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪***♪*

♪曲目解説♪

§ 歌劇《フィガロの結婚》序曲
プレスト ニ長調 4分の4拍子
モーツァルトの代表的なオペラのひとつ、《フィガロの結婚》の序曲。18世紀オペラ・ブッフアの序曲の中で最も有名なものと言えよう。単独で演奏されることも多い。演奏時間約4分。

§ 序曲《フィンガルの洞窟》
ソナタ形式の演奏会用序曲。メンデルスゾーンは、《スコットランド》の冒頭のイメージを得たというスコットランド旅行の際に、この曲にも着手している。フィンガルの洞窟とは、スコットランド北西沖の大西洋に浮かぶスタッファ島

の洞窟で、その地方の伝説上の国王フィンガルにちなんでそう呼ばれているという。初演は、二度目の訪英の際、1832年5月14日 ロンドンにて。演奏時間約10分。

§ 交響曲 第5番 ハ短調 作品67 《運命》

おそらく、すべての交響曲の中で最もよく知られ、多く演奏され、また高い人気を誇っているのが、この《運命》であろう。ベートーヴェン自身が、「運命は、かく扉をたたく。」と言ったと、その弟子シントラーによって伝えられている。初演は、1808年12月22日 ウィーンにて。演奏時間約7分。(第1楽章のみ)

第1楽章

アレグロ・コン・ブリオ ハ短調 4分の2拍子 ソナタ形式

§ 交響曲 第3番 イ短調 作品56 《スコットランド》

メンデルスゾーンが、この曲の最初のイメージを得たのは1829年彼が20歳の時のことであった。彼はこの年、彼自身の第1交響曲指揮するため、はじめてイギリスに渡った。このイギリス旅行中にスコットランドのホリールートゥ城の遺跡を訪れた際、この曲の冒頭のメロディーを思い付いたと言われている。しかし、この曲が完成をみたのは、実に13年後の1842年のことであった。同年3月3日ライプツィヒにて初演。各楽章は、切れ目なく、引き続いて演奏される。演奏時間約37分。

第1楽章

ソナタ形式

序奏部: アンダンテ・コン・モート イ短調 4分の3拍子

主部 : アレグロ・ウン・ポーコ・アジタート イ短調 8分の6拍子

第2楽章

ヴィヴァーチェ・ノン・トロポ ヘ長調 4分の2拍子

簡略化されたソナタ形式

第3楽章

アダージョ ニ短調 4分の2拍子 ソナタ形式

第4楽章

アレグロ・ヴィヴァチッシモ イ短調 2分の2拍子 ソナタ形式

§§《スコットランド》について、楽譜はトヨタ・ミュージック・ライブラリーより貸与されたものを使用。